

F22 ブリアンソン Briancon

ブリアンソンの岩場はイタリアとの国境に程近いドヒネアルプスに位置する。岩場はブリアンソンの街を中心として幅広く点在している。おもなエリアはブリアンソンから南 30 キロのモントファンまでの間に点在しており、エリアの数は60を超える。ここは大変景色が良く、夏はハイキングを楽しむ登山者、冬はスキーと年中ここを訪れる人は絶えない。クライミング岩場を選べば年中登可能で岩質も石灰岩やレキ岩などさまざまなタイプのクライミングが楽しめる。そのような岩場であるが、フランスの中では特に夏に登れるエリアとして有名である。真夏でも日陰のエリアであれば快適に登ることができる。また曇った日であればすべてのエリアに登攀可能。ただし8/1-20位の間は、ブリアンソンからgapにかけては、観光客でものすごい人出となる。アパートはおるかキャンプ場も満員で入れないほどなので、覚悟の程を。

真冬はかなしい寒いと思われるが、3月に行ったときはスキーとクライミングの両方が楽しめた。また、ここは城下町になっていて街を散策したり、イタリアに出かけて食事をしたりするのも可能である。ただしエリアが広範囲に渡って点在しているため車は必需。また、かなりアプローチが複雑な場所もあり、少々迷うエリアもあるかもしれない。岩と雪 145号にも紹介されているのでそちらも参考されたい。

岩質

岩場の多くは石灰岩。ただしポケットなどは少ない。その他レキ岩、チャート。中には水晶が混ざった岩もある。

ルート

エリアによってさまざまなタイプや傾斜があり、長さも10メートル以下のショートルートから数ピッチのルートもある。グレートもまんべんなく揃っている。ただし全体的に易しいルートでもボルトはしっかり打ってあって近目。なごしろこの地では開拓に政府の援助があるという。なんと羨ましい限りである。エリアは40以上あるのでトポで自分に合ったエリアを選んで行くとよい。しかし、中にはハズレのエリアもある。

RO POUIT(レ プイ)

このエリアは垂直中心でグレートも5,11、5,12前半が中心。初心者から中級者にもお勧め。壁は100メートルほどあるがルートはその基部に築かれていて、3つ程のセクターに分けられている。とても日当たりが良い。日が出れば冬でも登れるらしい。ベストシーズンは春と秋。

TRAVERSES(トラベルゼ)

岩場は道路を挟んで上と下のエリアに分けられる。メインエリアは下のエリアでとても近い。ほとんど10メートル以下だが前傾していてかなり難しい。ボリダー系の人なら迷わず行くべし。とても日当たりが良い。春と秋がベストシーズン。

RA ROCHE(ラ ロッシュ)

岩場はロッシュの村のすぐ裏にあり、幾つかのエリアに分かれている。中には民家のすぐ裏に8Aのある岩場もある。メインエリアは薄かぶりのきれいなフェースで20メートル程ある。少々の雨なら登れるがどしゃ降りは無理。日当たりが良いので真夏は暑すぎる。

MONT DAUPHIN(モントファン) La Grotte

この岩場はレキ岩で出来ていてとても面白い。ルートの数はそれほど多くないが左壁は垂直から薄かぶりの5,11から5,12前半のルートがある。右壁はケイブになっていてルート数は少ないがかなしい難いラインが設定されている。中でもDioul glaoud(7c+)の途中から右の入る7B+は特にお勧め。取り付きでは20メートル程のトラバースボリダーが出来る。雨が降ってもケイブは問題ない。ただし真夏などレープのルートはなぜか、ホールドの中がヌレヌレになっていることがあった。雨の後は最悪の状態になる。アプローチはブリアンソンからN94をモントファンの町を出てすぐ左に入る道に入り、さらに200mほど進むと、左よりMontdauphin - fontの看板のある細い道があるので、これに沿って上がっていく。急カーブをすぎ、さらに200mくら進むと左上がLa Grotteのエリア。アプローチは道から1分たが大きな岩の一部なので少しわかりにくい。夕方から日が入ってくる。La Grotte以外のモントファンのエリアはどれも面白い。

Bec de l'ase

薄かぶり前の傾壁に7a-7c+まで7本。ルートは長く1日中日陰なので夏は良い。アプローチは15分ほど。

Saint Crepin

Saint Crepinの町外れから、東に見える岩。ルートは5.10-5.13まで100本ほどある。傾斜はスラブから薄かぶりだが、クオリティはなかなかのものがある。特に5.10-5.11台は充実しているため、初中級者でいつも賑わっている。午後から日向のエリアなのでシーズンによって使い分ける。

Panacelle Face Nord

1日中日陰なので夏のエリア。駐車場の横に岩場があるので結構人気がある。ルートは25-30mと長く、薄かぶりの壁をカチゴバで上がっていく。長いリートが多いが必ずしも難しい。核心部があり、それ以外は易しいというパターンが多い。あまりストレッチアスではないがグレートが核心部についている感じで、背の低い人には辛いと感じると思う。薄かぶりが好きな人には右端の7cが特にお勧め。プリアンソンにしてはランナウトするルートが多い。

Chanteloube

やさしいリートが山のようにあり、終了点にも横から簡単なあがれるので、講習会に最適なエリア。右にあるLe Toitは7の後半が15本ほどあるが、下は簡単なスラブ。7メートルほど上の最後のレフにセメントで固めたコルネがぶら下がっているなどで、蜘蛛の巣状態の大はずれエリアだった。

Rif d'Oriol

自然に帰っている。スケールもなぐりかぬほうが良い。

Barachin

いいという話だったが、ほとんど登られている形跡なし。

Ailefrode

この街は大岩壁に囲まれ、30メートルのキャンプ4を思わせるが、グランペによるとがいだんぐエリアとして有名ようだ。ポルダーは行っていないのでわからないが、写真からはなかなか良さそうな感じであった。私が行った岩場(Tenue de Soiree)は自然に帰っており、しかもスラブ。

Beauregard

6台ばかりだがクオリティはまあまあ。アプローチ3分で午後から日向。

L'oratoire

7a+と7bが10本近く並んでいる。岩質は下部が石灰岩、上部は礫岩と、感じて結構面白い。午後から日向だが、夏の雨の日には1日中使える。アプローチ5分。BeauregardからN94を200mほどプリアンソンよりの3台程度車が止まれる駐車スペースから登っていく。左端の7bはオンサイトかなりきつい。好ルート。上級者にはすこし物足りないかもしれないが、上部が張り出しているため、雨でモントファンすら登れない日でも、クライミング可能だったので覚えておくと良い。

宿泊

キャンプ場はそこらじゅうにある。しかしほとんどは夏場だけのオープンが多い。年中やっつけてクライマーに人気があるのはRA-ROCHE-DERAMEのエリアのそばのキャンプ場。ここは雨が降ると小屋を使わしてくれる。冬場はそこで宿泊させてくれるらしい。シャワーあり。その他ここはリゾート地なので週単位の貸しアパートやペンションなどもある。ただし真夏(7/14-8/20ごろ)はGAPからプリアンソンにかけてはヨーロッパじゅうから人が集まり、キャンプ場、ホテルなどのすごい人である。あらかじめ予約をして出かけたほうがよい。

シーズン

エリアを選べば1年中登れる。しかし 標高が高いため基本的には春から秋。しかし エリアによっては暑すぎて登れなかったりする場合があるので、午前と午後でエリアを変えるのもよい。

ショッピング

ブリアンソンの街ではなんでもそろそろ マウンテンショップもある(品揃えは良くない)。その他近くの村にスーパーがある。トボは2冊でているがHaute Alpes がだしているGRIMPER とい新しいトボが近郊の町のスポーツ店や本屋で手に入る。

アプローチ

ブリアンソンへはフランス中部のグルノーブルや南仏方面さらにはイタリア方面からも入ることが出来る。ここでは南仏方面からを紹介する。エクサンプロバンスからボルクスなどを過ぎ SISTERON、次いでGAP 方面を目指す(N85号からD942号)。途中 GAP には向かわず、BRIANCON 方面へ。後はN94号をひたすら走ると途中幾つかのクライミングエリアの横を通りながらブリアンソンの街につく(エクサンプロバンスから3時間、セューズから1時間強)。

2000年7月 木村理恵

2001年8月 内藤直也